

Information

日本看護教育学学会 第28回学術集会

テーマ▶看護職者の教育役割遂行に向けた
知の集積

日時▶8月22日(水)10:00~16:40

会場▶前橋テルサホール(前橋市)

プログラム▶基調講演「ベッドサイドでの
患者教育 その能力向上を目指した研究成
果の産出—看護基礎教育・継続教育への活
用に向けて」上國料美香(国立看護大学
校)／演題1「実習指導者の経験の概念化
—病院に就業する実習指導者に焦点を当て
て」飛世真理子(船橋市立医療センター)
／演題2「看護学実習指導の良否を学生が
決定づける基準—病院に就業し実習指導に
携わる看護師に着眼して」泉澤清枝(北里
大学)／演題3「『問題診断尺度—スタッフ
看護師用』の開発」服部美香(群馬県立県
民健康科学大学)／演題4「職場の『働き
やすさ』評価尺度の開発と有効性の検証—
病院に就業するスタッフ看護師にとっての
働きやすい職場づくりに向けて」鹿島嘉佐
音(千葉大学)／シンポジウム「看護職者
の教育役割遂行を支える研究成果の活用」
司会:松田安弘(群馬県立県民健康科学大
学), シンポジスト:亀岡智美(国立看護
大学校), 渡辺健太郎(千葉大学), 金子友
香(群馬県立小児医療センター), 川島理
恵(福島県立医科大学)／懇親会
参加費▶一般8000円, 学生(大学院生を
除く)3000円, 懇親会5000円
問い合わせ先▶日本看護教育学学会第28
回学術集会事務局
〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まな
び野1-1-1 長崎県立大学シーボルト校内
☐ jasne_28@yahoo.co.jp
<http://jasne.umin.jp/>

全国訪問看護事業協会 研修会

●入院前から始まる退院支援研修会

テーマ▶医療機関と地域をつなぐ

日時▶8月31日(金)~9月1日(土)

会場▶CIVI 日本橋会議室(東京都中央区)

プログラム▶

【8月31日】「退院支援とは—ケアマネジメ
ントと退院支援院内チームと地域連携シス
テムづくり, 退院支援看護師の役割と機
能」篠田道子(日本福祉大学)／「退院支援
が求められる背景—政策の動向・在宅医
療・訪問看護の概要と活用方法」山田雅子
(聖路加国際大学)／「訪問看護と退院支援」
服部絵美(白十字訪問看護ステーション)

【9月1日】「在宅・病院ともに取り組む在
宅療養支援—地域包括ケア時代に求められ
る継続看護」宇都宮宏子(在宅ケア移行支
援研究所)／「グループワーク 自施設の在
宅療養移行支援・在宅療養支援—現状と目
指す姿を共有しよう」宇都宮宏子, ファシ
リテーター:山田雅子

対象▶訪問看護に従事する看護師等, 病
院・施設等の職員

参加費▶会員1万5000円, 非会員3万円
定員▶約150名

申込方法▶下記ホームページの研修会申込
フォームにて。あるいは, ホームページか
ら参加申込書を印刷し必要事項を記入の
上, 下記FAXに送信。

●訪問看護管理者養成研修会

テーマ▶体系的に学ぶ管理者の役割

日時▶I期:9月13日(木)~15日(土), II期:10月11日(木)~13日(土), III期:11月15日(木)~17日(土)

会場▶中央法規ビル会議室(東京都台東
区)

プログラム▶

I期:訪問看護を取り巻く制度と政策／管
理者の制度的な位置づけと役割・機能／グ
ループワーク—課題の整理・分析／看護管
理に必要な知識体系／看護管理者の役割と
活動／リーダーシップ論／経営状態の把
握・評価(経営に関する基本的技術, 経
理・財務の実際(経営に関する基本的技
術)／看護師の特定行為研修の概要につい
て

II期:サービスの品質管理／マーケティング
初級編・ストラテジー初級編・経営マネ
ジメント／リスクマネジメント／看護管理
に必要な知識体系／看護管理者の役割と活
動／退院支援・退院調整・効率的運営のた
めのマネジメントシステム

III期:管理者の意思決定・マネジメントス
キルのケースメソッド／人材の確保／労務
管理の基礎知識／他職種から学ぶ人材管理
職場環境づくりとモチベーション管理／人
材の育成

講師▶厚生労働省担当官(予定), 齋藤訓
子(日本看護協会), 新津ふみ子(ケア・
コーディネーション研究所), 山田雅子
(聖路加国際大学), 勝原裕美子(オフィス
KATSUHARA), 藤井賢一郎(上智大学),
深澤優子(R & DNursing), 高村浩(高村
浩弁護士事務所), 宮本祥代(石心会), 石
原ゆきえ(昭和大学江東豊洲病院), 浦山
絵里(ひとづくり工房 esuco), 上野桂子
(全国訪問看護事業協会), 高砂裕子(同),
清崎由美子(同)ほか

対象▶訪問看護ステーションでの管理者経
験2年以上の者, 当協会主催「訪問看護新
任管理者研修会」を修了した管理者で経験
1年以上の者(いずれも全日程参加できる
こと)

参加費▶会員11万5000円, 非会員23万
円

定員▶約40名

申込方法▶下記ホームページの研修会申込
フォームより。あるいは, ホームページか
ら参加申込書を印刷し必要事項を記入の
上, 下記FAXに送信。

【以下共通】

問い合わせ先▶全国訪問看護事業協会事務
局

☎ 03-3351-5898

☎ 03-3351-5938

<http://www.zenhokan.or.jp/>

看護職の採用と定着を考える会 診療報酬改定セミナー

セミナータイトル▶診療報酬改定の先をゆ
く, 未来志向の生き残る看護組織を作る

日時▶9月5日(水)13:00~17:00

会場▶富士ソフトアキバプラザ6F セミ
ナールーム1(東京都千代田区)

内容・講師▶基調講演「医療と介護のクロ
スロード 消える7対1と看護師の新たな
役割」武藤正樹(国際医療福祉大学)／講

演「2018年改定での看護関連項目の検証と2025年へ向けた看護部の経営戦略」工藤高（MMオフィス）／「特別座談会」武藤正樹、工藤高、中島美津子（東京医療保健大学）

参加費▶一般2万円、会員1万円（税込）

定員▶120名

主催・問い合わせ先▶一般社団法人看護職の採用と定着を考える会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-15 B棟-1

☎ 03-6457-7714

<http://rsn-kango.com/研修/20180905/>

看護コンサルタント株式会社 2018年度「メッセンジャーナース」 研鑽セミナー

医療の受け手と医療者に起こりがちな「認識のズレ」。対話を重視し、そのズレを正す懸け橋がメッセンジャーナースです。医療の受け手やご家族の願いや意思を重視しつつ、医療者と向き合い、時に代弁者となって認識のズレを正します。安心して適切な医療を受けられる役割を担います。

メッセンジャーナースとして従事するためには、メッセンジャーナース認定協会の審査にパスし、認定書を付与されることが必須条件です。メッセンジャーナース研鑽セミナーⅠ～Ⅵを全て受講された方は、審査が免除になり、メッセンジャーナースとしての活動に際し看護コンサルタントのサポートを受けることになります。

各回のテーマ▶Ⅰ「終末期医療 治療のやりすぎはなぜ起こる？」／Ⅱ「受ける医療 認識のギャップはなぜ起こる？」／Ⅲ「受けた医療 心の葛藤はなぜ起こる？」／Ⅳ「必要な医療 医療不信はなぜ起こる？」／Ⅴ「医療の現場 メッセンジャーナースの出番です」／Ⅵ「時の流れ メッセンジャー力を磨こう！」

日程▶Ⅰ：9月15日（土）・16日（日）、Ⅱ：10月13日（土）・14日（日）、Ⅲ：11月24日（土）・25日（日）、Ⅳ：12月15日（土）・16日（日）、Ⅴ：2019年1月12日（土）・13日（日）、Ⅵ：2月23日（土）・24日（日）
参加費▶各回3万6000円（昼食代別、皆

さんとの交流を含め外食となります）。Ⅰ～Ⅵまで6回分一括で入金の場合は計20万円。

問い合わせ先▶看護コンサルタント株式会社（担当：仲野、片岡）

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-17-10 STビル2階

☎ 03-5386-2427

FAX 03-5386-0662

✉ seminar@e-nurse.ne.jp

<http://www.nursejapan.com/nci/>

第14回 日本乳がん看護研究会

テーマ▶乳がん患者の地域連携を考える—今、求められていること

日時▶10月6日（土）9:55～16:30

会場▶KFC ホール（東京都墨田区）

プログラム▶教育講演1「地域で取り組む緩和ケア—がんになっても安心して暮らせる街をめざして」星野彰（岩手県立中部病院）／教育講演2「その人らしい暮らしを支える」平原優美（あすか山訪問看護ステーション）／指定演題「地域連携・在宅療養支援」／ケースカンファレンス1「周産期・育児期の乳がん患者への看護支援」／同2「在宅で過ごす終末期乳がん患者への支援」／ミニセミナー

参加費▶事前参加登録（9月15日まで）
会員4000円、非会員5000円。当日参加登録会員5000円、非会員6000円

定員▶300名

参加登録方法▶下記ホームページ参照

問い合わせ先▶〒260-8672 千葉市中央区玄鼻1-8-1 千葉大学大学院看護学研究科成人看護学領域内

✉ info@jabcn.jp

<http://www.jabcn.jp>

埼玉県立大学研究開発 センターシンポジウム2018

テーマ▶地域包括ケアの深化に向けて

日時▶10月6日（土）13:00～16:30

会場▶埼玉県立大学講堂（埼玉県越谷市）

プログラム▶基調講演「地域包括ケアのこれまでとこれから」田中滋（埼玉県立大学）／シンポジウム「地域包括ケアの深化に向けて」迫井正深（厚生労働省）、川越雅弘（埼玉県立大学）、野崎伸一（厚生労働省）、斉藤正身（真正会）／パネルディスカッション

定員▶400名

申込方法▶E-mail、FAXで

申込・問い合わせ先▶埼玉県立大学研究開発センター 担当：小助川・海老原

FAX 048-973-4383

✉ Research_c@spu.ac.jp

<https://www.spu.ac.jp/about/facilities/tabid650.html>

2018年度熊本大学公開講座 インストラクショナルデザイン 入門編／応用編

◎入門編

学習目標▶①IDの基礎用語10個がどのような場面でどのように活用できるかを例示できる（知的技能）、②ARCSモデルの視点から、教育事例の課題点を指摘し、適切な改善方法を選ぶことができる（知的技能）

日時・会場▶10月14日（日）・東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター508号（東京都港区）＝キャンセル待ち、10月20日（土）・熊本大学黒髪北キャンパスくすの木会館（熊本市中央区）、10月21日（日）・天神チクモビル大ホール（福岡市中央区）、11月4日（日）・JEC日本研修センター 江坂中会議室C（大阪府吹田市）、11月10日（土）・ウイंकあいち908（名古屋市中村区）

◎応用編

学習目標▶IDの基礎用語10個のうち1つ以上を応用して、自分の教育事例の改善案を提示できる（知的技能）

日時・会場▶2019年1月12日（土）関西大学梅田キャンパス（大阪市北区）、1月13日（日）天神チクモビル大ホール（福岡市中央区）、1月27日（日）東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター508

号（東京都港区）＝キャンセル待ち

【以下共通】

定員▶各 40 名

参加費▶各 7500 円

申込方法▶下記ウェブサイトの申込フォームより

問い合わせ先▶熊本大学インストラクショナルデザイン公開講座

☎ 096-342-3121

✉ tsuzuku@kumamoto-u.ac.jp

<http://www.cps.kumamoto-u.ac.jp/syogaigakushu/koukai/id/>

第 12 回 看護教育研究学会学術集会

テーマ▶変革の時代における看護教育—思いやりの心を表現する「看護倫理」

日時▶10月20日(土)9:30～16:30

会場▶日本大学文理学部百周年記念館 2F 国際会議場（東京都世田谷区）

内容▶集会長講演：角智美（茨城県立中央病院）／シンポジウム「倫理的問題事例と倫理的行動」／一般演題／ポスター演題発表

参加費▶一般：事前申込 5000 円，当日 5500 円，学生（大学院生を含む）：1000 円（受付で学生証を提示）

問い合わせ先▶

✉ congress2018@nihonkango.jp

<http://www.nihonkango.jp/index.html>

愛知県看護協会訪問看護 認定看護師教育課程 2019 年度受講生募集

出願期間▶10月22日(月)～31日(水)

試験日▶11月18日(日)

教育期間▶2019年5月～2020年3月
講義：金・土（5～11月），演習：木・金・土（12～1月中旬，11・1月は金・土），実習：月～金（1月中旬～2月中旬）
※仕事を継続しながら受講が可能

定員▶20 名

入学説明会▶8月4日(土)

※詳細は下記ホームページ参照

問い合わせ先▶愛知県看護協会教育研修課

☎ 052-871-0761

<http://www.aichi-kangokyokai.or.jp/>

第 15 回日本周産期 メンタルヘルス学会学術集会

テーマ▶いま，あらためて「寄り添う」を考える

日時▶10月27日(土)～28日(日)

会場▶神戸女子大学ポートアイランドキャンパス（神戸市中央区）

内容▶

[10月27日] 会長講演『「寄り添う」ということ（仮）』玉木敦子（神戸女子大学）／シンポジウム①「妊産婦や家族の思い：周産期メンタルヘルスに求められているもの」／基調講演「日本周産期メンタルヘルス学会の 15 年をふりかえって（仮）」岡野禎治（日本周産期メンタルヘルス学会）／シンポジウム②「妊産婦のこころを支える：さまざまな場と専門職の役割」

[10月28日] シンポジウム③「今あらためて注目したい：明日の周産期メンタルヘルス治療のために」／特別講演「妊産婦の自殺の実態とメンタルヘルスの重要性（仮）」竹田省（順天堂大学）／ポスターセッション／特別企画「流産・死産を経験した女性と家族の体験，ピアサポート」

参加費▶会員 5000 円，非会員 6000 円，学生 1000 円（要学生証提示）

※詳細は下記ホームページ参照

問い合わせ先▶学会事務局 安川通子

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学保健管理センター内

☎ 080-3622-8911

FAX 059-231-9049

✉ mental-3@hac.mie-u.ac.jp

<http://pmh.jp/index.html>

緩和ケアに関心のある人の ためのエンカウンターグループ

日時▶11月22日(木)15時～11月25日(日)12時（3泊4日）

場所▶グループ・イン・ほりのや（山梨県南都留郡）

スタッフ▶広瀬寛子（戸田中央総合病院），用田宗人（さぎぬまカウンセリングルーム）

定員▶10 名まで

参加費▶研修費 2 万 7000 円＋宿泊費・食費（3 食付き）2 万 9000 円

申込方法▶①氏名，②性別，③年齢，④現在の職業または所属，⑤連絡先住所，⑥電話，⑦ E-mail アドレス，⑧参加申込理由あるいは参加に際しての希望事項を記入した参加申込書を下記の住所へ郵送，あるいは E-mail で送付

申込締切▶10月20日(土)

*申込金 1 万円の送金方法は参加申込書を受け取り後に連絡。申込金の返却は不可。参加できなくなった場合は代わりの人の参加も可。

申込・問い合わせ先▶戸田中央総合病院カウンセリング室 広瀬寛子

〒335-0023 埼玉県戸田市本町 1-19-3

☎ 048-442-1111（内線 2393）

✉ kanwa_care@yahoo.co.jp

*メールの件名を「エンカウンターグループ問い合わせ」とする。返信の際，設定により迷惑メールとして認識される場合があるので，1 週間経過しても返信がない場合は電話で問い合わせを。